



学園祭(クラス展示)



学園祭(オープニング)



体育祭(クラブ対抗リレー)



体育祭(フォークダンス)

コロナ禍からの回復を期待しつつ、10月19日(水)〜21日(金)にかけて賀茂祭が開催されました。



賀茂高等学校
同窓会 会誌 vol.14

令和4年12月23日発行

賀茂高等学校
同窓会事務局

東広島市西条西本町16-22
TEL (082) 423-2559

URL : <https://dousoukai.site/kamo/>
email : k_aoi20149@royal.ocn.ne.jp

「新しい世代」の誕生

同窓会会長

川崎 信文 昭和45年生



本誌冒頭でコロナ禍に触れるのは、今回で三度目となりました。

新規感染者数は第七波のピーク時に比べれば明らかに減少傾向にあります。秋深まるこの時期においてもなお一進一退を繰り返す、第八波襲来も警告されています。

昨年の同時期、県全体で一日あたりの新規感染者が十〜二十名台、東広島市では一桁の前半ないしゼロであったことからすれば、依然として高い水準にとどまっています。そのためこの夏もまた三年連続で同窓会総会では書面での対応し、懇親会も中止とせざるをえませんでした。まことに忸怩たる想いです。

ロシアによるウクライナ侵攻が生み出した不穏な国際情勢もあって、このような、漠然とした不安を伴ういわば薄明かりの世相の中、同窓の皆様はいかががお過ごしでしょうか。

皆様の年齢、家族構成、そして職業により、日々の生活の実相はきわめて多様でしょうが、累計感染者数がこれだけ増えれば、御自身が、あるいは身内の方が感染され、回復後も後遺症に苦しんでおられる方も少なくないでしょう。

なかでも来春卒業の日を迎える現三年生は、入学以来三密回避とマスク生活を強いられ、先輩達が享受してきたこの年齢に特権的な大いなる楽しみに制約を受け、また奪われてきたと思われます。

彼ら、彼女らは、大戦末期の賀茂高女生徒の過酷なそれと同列に論じることはできませんが、それでもやはり後々まで語り継がれる体験を共有する一つの世

代を形成することになるでしょう。その名は「コロナ世代」か「マスク世代」か。

しかし反面、この世代はリモート授業の導入によって、ICT(情報通信技術)教育の技術・ノウハウに習熟する絶好の機会を得ることになりました。苦もななく軽やかに機器類を操作する現役生の姿は、黒板と白墨に終始した我々の世代からすればあたかも異星人のごとく映じます。

しばしば、戦争を典型とする大規模で深い社会的危機は、技術革新を一挙に進めると言われますが、この世代はその画期に位置することとなるでしょう。その意味では「リモート世代」となるのかもしれない。

こうして、それぞれの世代、学年がそれぞれ特有の事件と時代を経験しながら、同じ校地で同窓の縦糸を連綿と紡いできたことが改めて想起されます。来夏こそ、どうか「四度目の正直」が実現しますよう。

第70回 賀茂高校同窓会のお知らせ

日時
令和5年8月6日(日)
10:30 受付開始
11:00 開会

会場
グランラッセー東広島

会費
6,000円(予定)

当番幹事期
S48年・58年
H5年・13年・23年卒

お問い合わせ
賀茂高校 同窓会事務局

コロナ禍で 成長する賀茂高生

校長 富永 六郎



平素より同窓会の皆様には本校教育に対し格別の御理解と御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが世界的に流行して既に3年目を終わろうとしています。この間、生徒たちは、日常生活はもちろん、授業や学校行事、部活動、ボランティア活動等で多くの制約を受けてきました。今年度に入ってから、オミクロン株の流行の影響を本校も例外なく受けることとなりましたが、9月中旬以降は落ち着きを取り戻してまいりました。一昨年度、昨年度と2年間実施できなかった修学旅行を10月上旬北海道で予定どおり実施することができ、その後、10月中、下旬には賀茂祭（学園祭と体育祭）を無事実施することができました。体育祭の観

覧を最終学年である3年生の保護者と運営に協力いただいたPTAの一部役員に限定した以外はまだまだ一般公開にまでは至りませんでした。こうした学校行事を無事に実施できたのも、生徒や教職員がコロナと上手に向き合い、基本的な感染対策を徹底しながら取り組んでくれたおかげだと考えています。

このコロナ禍の中、学校現場では、生活様式だけではなく、教育の在り方も大きく変容を遂げてまいりました。特に、デジタル化の浸透はその最たるものだと云えます。本校では、現在の2年生から各自でタブレット型端末を購入し、授業で活用しています。教室もこれに対応してプロジェクター等の必要な整備を進めており、一人1台のタブレット型端末の導入が完成する来年度はほぼ全ての教室においてデジタル技術を活用した取組が展開できるようにあります。今後は、デジタル技術の効果的な活用等を通じて、より探究的な学習活動を充実させていき、そのためには、生徒一人一人の学習進度や能力、関心等を踏まえたきめ細かな学習支援や、生徒自身が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を進めるこ

とができるよう、教員が学びをファシリテートする取組の推進を図ってまいります。

さて、こうしたコロナ禍の中でも、生徒たちは地域と連携を深めようと、「総合的な探究の時間」はもちろん、教育課程外の活動においても主体的、能動的に取り組んでくれています。今年度は、夏季休業中において、同窓会事務局を仲立ちとして、東広島市原爆被爆資料保存推進協議会が主催されている「東広島市平和学習バス」に本校として初めて参加させていただきました。御承知のとおり、平和学習バスは、市内の全小中学校の代表の児童生徒が毎年バスに乗り合わせて平和記念公園などを訪れる取組であり、これまでは原爆資料館のピースボランティアの方々案内を依頼されていたようですが、協議会の皆様が「年齢が近い高校生に案内してもらえば、より印象に残るのではないか」と考えられ、本校と連携したいと学校側に御提案いただきました。私としてもこの取組が生徒たちにとって新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」につながるものと期待して取組を進め、これに24名の生徒が参加してくれました。

参加した生徒たちは、改めて平和の大切さを認識するとともに、当日の小中学生の様子から「学び」についての姿勢に気づきを得たようです。今後もこうした取組をより多くの生徒たちに広げてまいりたいと考えています。生徒たちは高い志を抱き、大きな夢を描いて成長しています。これからの本校の教育に引き続き御期待ください。



24時間受付

御葬儀 佐伯葬祭

東広島さいき フォレストホール
やすらぎ会館

東広島市西条本町17-9 (本部) ☎(082)422-2785(代)
☎(082)422-7444(FAX)

耕そう、大地と地域のみらい

広島中央農業協同組合

広島県東広島市西条栄町10番35号

JA広島中央

「三代の校歌」

理事 武田戦太郎
(昭和29年卒)



七月以降、新型コロナウイルスのオミクロン旋風によって同窓会総会は三年連続で中止になりました。「今年こそは」と意気込んでおられた当番幹事の皆さんの残念無念をお察しいたします。

総会及び懇親会の締めには歌われてきた母校三代の校歌は時代の変遷を物語っています。私立西条女学校と西条実科高等学校を経て、戦後、賀茂高等学校(昭和二十三年に名称は賀茂高等学校となる)から新制の広島県賀茂高等学校に至るまでの約五年、これが苦難混乱の西条高等学校の時代でした。

「西条高校の時代」

昭和二十四年から二十八年まで、県立高校の再編成によって賀茂高等学校と西条農業高等学校とが併合し、普通科・家庭科・農業五科の西条高等学校が誕生。普通科は旧制の広島第一中学校(現広島国泰寺高校)、第二中学校(現広島観音高校)、忠海中学校(現忠海高校)等に在学していた男子生徒たちが西条高校第一回卒業生として学舎を後にされました。先輩方の談では、「同期との交流はあるが、再編によって賀茂台地に誕生した西条高校への愛着は見当たらない、転学前の旧制中学で終わっていたらよかった」という正直な心情をよく伺ったものでした。

私は、昭和二十六年に西条高校に入学しました。現在の校地(旧賀茂高等女学校)にあった木造校舎で学び、二年生になると現在の市役所庁舎及び中央公園に位置(旧西条農業学校で東校舎と呼称)した教室でも学びました。入学後の二年間は、入学式や卒業式をはじめ、諸行事において声を張り上げて西条高校の校歌を歌っていました。昭和二十七年の晩秋、県立高校の再々編成が決まり、昭和二十八年から西条高校は賀茂高校と西条農業高校に分離。再出発となっ

た新年度四月から広島県賀茂高等学校が発足し、三年生となった私たちは昭和二十九年賀茂高等学校第一回卒業生として巣立ちました。

この混乱の時期、校章(かもあおい)は間に合いましたが、現在の校歌は私たちが卒業した年の秋に制定され、一年後輩から熱唱されています。校歌の無かった卒業式の記憶は私には残っていませんが、母校の苦難と発展の史実です。



修学旅行(左:梶吉俊彦氏、右:筆者)

「手造りのグラウンド」

あれから七十年も経つと、旧西条町で目に映るものは酒蔵と煙突くらいで、当然のことながら高校在学時の景色を探すのは苦勞します。西条農業高校の跡地は現在の市役所付近でしたが、当時は田園越しに西条中学

校まで丸見えでした。ただ一つ当時を回顧できるものは、現在の賀茂高校のグラウンドです。

昭和二十八年の秋、第一回体育祭の開催に合わせて整備されたグラウンドは、先生方と全校生徒が放課後や休日に手作業で造り上げました。現在は南北に拡張されているようですが、時々母校を訪れた際にあのころに想いを巡らします。当時の廣中校長先生をはじめ諸先生方の努力や地元地域のご支援を受け、大規模な重機がなくても関係者の皆さんの熱意や行動力を結集してグラウンドが完成したことを、これからも忘れないで思い出したいと思います。



第1回体育祭(左:筆者、右:土肥浩右氏)

「最高の想い出と心からの願い」

現在も体育祭恒例のプログラムの一つである三年生のフオークダンス。はじける笑顔は真に青春そのもの。毎年、微笑ましく参観しています。我々の想い出といえば、体育の時間に女性の北島先生がフオークダンスを教えるとの情報が流れ、男子全員がホイコットをして先生から大目玉を喰らったことでした。意気がった「バンカラ」時代のほろ苦い思い出です。当時、校歌はまだありませんでしたが、情熱や気概に溢れた高校生活であつたと思います。

同窓会総会で三つの校歌を耳にする度に色々と思いを巡らします。今は賀茂高等女学校の校歌はメロデーのみとなりました。西条高校の校歌を歌えるのも我々の年代のみ、やがてメロデーだけを耳にすることになります。歴史と伝統を受け継ぎ、三代目の校歌も後輩たちによってしっかりと歌い継がれることで、母校への感謝やかけがえのない思い出を育んで欲しいと願っています。

母校の発展と同窓生の健康を祈つて。

同窓生だより

「思い出と近況」

三原市教育委員会 教育長

昭和48年卒 計田 春樹



賀茂高校時代を振り返っていると、思い出したことがあります。それは、高校3年生の体育大会のことでした。私は生徒会の役員をしていて、体育大会を盛り上げるために何かパフォーマンスをしようかと話し合いました。当時全国的に大学紛争が二ニュースになっていて、機動隊と学生の小競り合いが繰り返して放送されていました。そのことに感化された私たちは、体育大会でそのシーンを再現しようとしてみたのです。そこで、たしか生徒会長の高松君が「西条警察署にヘルメットと盾を借りに行こう」と提案して、なぜか私と高松君が西条警察署に行くことになりました。西条警察署では、いぶかしそうに私たちを見つめ

ていた警察官に、思い切った趣旨を訴えると、顔をしかめて、ぶつと吹き出されたことを覚えています。それでもその後、署長室に案内されました。目的や内容など質問され、一生懸命それに答えた記憶があります。署長の返答は、「貸してあげたいのは山々だけど、公的な備品であるためのもので貸してあげられない」とのことでした。今、考えてみると何と無謀な要求をしたものだと恥ずかしくなるとともに、私たち高校生に対して、頭ごなしに拒否するのではなく、丁寧且つ懐の深い対応をして下さったことに「大人」を感じた記憶がよみがえりました。

現在 私は、三原市教育委員会 教育長として勤務しております。教育は激変しております。その一つに、「GIGAスクール構想」があります。学校においては、ICT環境を整備するとともに、児童・生徒に一人一台の学習者用端末が配布されています。学校の授業も児童・生徒に情報モラルやICT活用ルールを徹底した上で、その操作や

情報活用スキルを習得させ、アプリを利用して思考したり、まとめたり、振り返ったりする学習に変化しています。今や、教室での学習は、机の上にノートと教科書だけでなく、学習者用端末が居座るといふ光景になりつつあります。学習者用端末を活用して、オンラインでどこからでも、教室とつながり授業を受けることもできます。三原市教育委員会では、学習者用端末を利用して、「子ども一人一人の教育や理解度に応じた個別最適な多様な学び」や「多様な意見にふれる協働的な学び」等にICT機器を有効活用できるように努めています。

また、学びの変革として、教師が教えるという講義式の授業から子どもが主体的に学ぶ授業に舵を切っております。さらには、「コミュニティ・スクール」制度、中学校の部活動の地域移行、小学校における教科担任制、校則の見直し、教職員の働き方改革、不登校支援等数々の課題に向き合い、奮闘する毎日です。

末尾になりましたが、賀茂高校の益々の発展と同窓会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

「支えてくれた方々へ 感謝の気持ちを込めて」

東京藝術大学大学院美術研究科

修士課程 彫刻専攻
平成30年卒 本岡 景太



「野球部を途中で辞めたひとは、何をやってもその後、中途半端な人生を送っている。」と、退部当時、担当だった先生のうちの誰かに言われました。

高校1年生の冬に、それまでの8年間の野球人生に区切りをつけた僕は、その後すぐに美術への道を志しました。両親の助けのおかげで、美大受験に合格し、進むべき道筋を知ることができました。美術大学で作品をつくり続けるうちに、僕の小さかった志は大きく頑丈になり、つくりながら生きていく覚悟のようなものが生まりました。そうして経験を重ねるたびに、作品をつくることや発表することはほとんど仕事になってきて、自分の仕事に責任を背負うようになりました。今では年中無休でつくりまくります。どんなに忙しくて疲れていても、作品をつくる



ほんだ歯科医院
院長 本田 清和 (昭和57年卒)

〒739-0047 東広島市西条下見6丁目10-3
TEL 082-421-3200
<http://www.honda-dc3200.jp/>



社会福祉法人 広島福祉会
～老人介護のことならご相談ください～

特別養護老人ホーム・養護老人ホーム
造 賀 福 祉 園
東広島市高屋町造賀708 ☎082-436-0009

サービス付高齢者向け住宅
シニアマンション造賀
東広島市高屋町造賀734-1 ☎082-430-2005

喜びは忘れられないようです。そして時々、高校時代の挫折を思い返します。

僕の高校時代は、他の高校生と比べると悲惨なものだったと言われます。記憶に強く残っているのは、数力所の骨折や靭帯の損傷で満身創痍になりながら、暗闇をただ必死に走っていた野球部員の自分と、なかなかおさまらない痛みにも寄り添って来てくれた友達や家族です。

当時の僕は純粋無垢でした。きつと、相手に対して疑ってかかるということあまり知らず、それだけ、その時大事だった何かを本気で愛そうとしたり、信じようとしたり、向き合おうとする気持ちがなかったことに気がつきます。もしかしたら、そういう気持ちを支わざるを得ない状況だったのかもしれないが、高校時代の挫折は、僕の場合、味わうべくして味わったことだったかもしれないと、最近になって感じます。

先日、高校卒業ぶりに同期生の友達に会いました。久しぶりに会った彼らの笑顔は本当に輝いていて、今の彼らの人



武蔵野美術大学卒業作品
「はりつけの大きなカーテン(big curtain)」

生の充実を感じました。「野球部を途中で辞めたひとは、何をやってその後、中途半端な人生を送っている。」実は、どうしても大変な時、たまにまだこの言葉が僕の両足を挿んで下へ引きずりおろそうとしてきます。しかし、自分の人生を足かせのように邪魔をする言葉は、所詮ひとりの人間の思い込みなのだと思いつけて、忘れてしまえばいいのではないかと思っ

新しい時代をつくる僕たちは、過去からの束縛や、強いひと偉いひとの言葉になんてとらわれず、自分が信じたものへ体いっぱい立ち向かえばいいのではないかと、今はそんな風に感じています。

挫折があつたから、これから的人生も強く豊かに生きられる。当時から支えて下さるOBの方々をはじめ、友達や家族に心から感謝しています。

喜びは忘れられないようです。そして時々、高校時代の挫折を思い返します。

僕の高校時代は、他の高校生と比べると悲惨なものだったと言われます。記憶に強く残っているのは、数力所の骨折や靭帯の損傷で満身創痍になりながら、暗闇をただ必死に走っていた野球部員の自分と、なかなかおさまらない痛みにも寄り添って来てくれた友達や家族です。

当時の僕は純粋無垢でした。きつと、相手に対して疑ってかかるということあまり知らず、それだけ、その時大事だった何かを本気で愛そうとしたり、信じようとしたり、向き合おうとする気持ちがなかったことに気がつきます。もしかしたら、そういう気持ちを支わざるを得ない状況だったのかもしれないが、高校時代の挫折は、僕の場合、味わうべくして味わったことだったかもしれないと、最近になって感じます。

先日、高校卒業ぶりに同期生の友達に会いました。久しぶりに会った彼らの笑顔は本当に輝いていて、今の彼らの人

同期会だより

賀茂高校昭和47年卒同期会 日時：10月30日(日) 15:30~18:00 場所：グランラッセレ東広島

同窓会総会の中止に伴い、改めて巳午（みうま）会と称して47年卒同期会を開催。『古希を迎える年に、旧友と懐かしいひと時を過ごすだけでなく、個別に連絡先を交換し、今後も連絡し合い再会するための機会に資する』を趣旨としました。グループLINEを立ち上げ、参加の声かけ作戦を展開し、遠く埼玉からの参加者も含め52名の参加となりました。校歌斉唱、同期物故者への黙祷、自己紹介、歓談という流れで、2時間半の時間も盛り上がりの中で、あっという間に過ぎ、名残惜しい雰囲気での閉会となりました。

(幹事 宝積 良忠)



本城内科小児科

院長 本城典彦 (昭和36年卒)

休診日 / 火曜日、金曜日午後
日曜日・祝日は診療

診療時間 / 8:00~12:30 14:30~18:00

西条中央8丁目3-3 (黒瀬川沿い) TEL 082-422-6744

最高位経済産業大臣賞二回連続受賞

第23回・第24回全国伝統的
工芸品伝統仏具展において、
最高位である経済産業大臣賞を
連続受賞しました。

お気軽に
お越しください

蓮池うるし工芸館 東広島市西条町西条東1054-1 (安福/西条駅前)
TEL (082) 423-2876

賀茂高校の近況

令和4年度 部活動の主な実績

部活動名	大会名	種目等	成績・氏名等	
レスリング部	全国高校総合体育大会	男子125kg級	ベスト8	中本 勝幸
		男子団体	出場	
	県高校総合体育大会	男子団体	優勝	
水泳部	全国高校総合体育大会	女子400m個人メドレー	出場	松本さくら
	中国高校選手権大会	女子400m個人メドレー	第3位	松本さくら
アーチェリー部	全国高校総合体育大会	女子団体	決勝トーナメント進出	
	県高校総合体育大会	女子団体	優勝	
軽音楽部	全国高校軽音楽コンテスト	オリジナル曲	県代表バンド名 月語	



レスリング部



アーチェリー部(読売新聞オンラインから)

「平和学習バス」高校生スタッフの活躍

7月29日(金)、東広島市内の小中学生が参加する「平和学習バス」の平和公園内碑巡りに賀茂高生24名がスタッフとして参加しました。地元の高中生として「どんな資料で、どのように伝えれば良いか」について、小中学生の立場に立って丁寧に準備を重ね、本番に臨みました。当日は気温36度を超える猛暑日でしたが、児童・生徒の体調に目を配りながら、そして自分自身の思いを加えて説明をする姿に頼もしさを感じました。



「ひろしま県議会だより」の巻頭を飾る写真

年4回発行されている「ひろしま県議会だより」第68号(7月)に写真部3年生の林美羽さん、第69号(10月)に同じく3年生の中野響介さんの作品が紙面巻頭を飾りました。両作品とも発行時期の季節感のある素晴らしい作品でした。



令和3年度(2022年3月)卒業生の進路実績 (現役合格者延べ数)

【国立大学】	合格
大阪大学	1
九州大学	1
広島大学	15
岡山大学	1
山口大学	8
島根大学	4
大阪教育大学	1
徳島大学	2
香川大学	1
愛媛大学	4
福岡教育大学	1
長崎大学	1
鹿屋体育大学	1
宮崎大学	2
合 計	43

【公立大学】	合格
県立広島大学	10
広島市立大学	8
福山市立大学	2
尾道市立大学	9
他県の公立大学	12
合 計	41

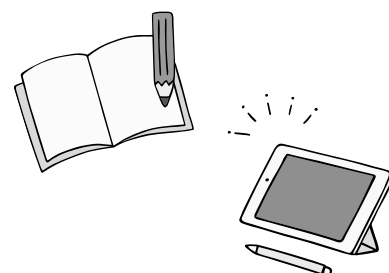
【県内私立大学】	合格
広島文化学園大学	13
比治山大学	12
広島経済大学	42
広島工業大学	42
広島修道大学	117
広島女学院大学	6
広島文教大学	8
福山大学	6
福山平成大学	4
安田女子大学	65
広島国際大学	48
日本赤十字広島看護大学	7
広島都市学園大学	8
合 計	378

【主な県外私立大学】	合格
東京理科大学	1
同志社大学	1
立命館大学	14
関西大学	4
関西学院大学	3
近畿大学(工学部を含む)	82
合 計	158

【県内短期大学】	合格
比治山大学短期大学部	4
安田女子短期大学	2
山陽女子短期大学	1
広島文化学園短期大学	6
合 計	13

【看護専門学校】	合格
広島市立看護専門学校	3
呉医療センター附属呉看護学校	7
合 計	10

【就職(公務)】	合格
航空自衛隊	1
広島県公安委員会(県警)	1
大阪府公安委員会(府警)	1
広島市消防局	1
東広島市消防局	1
合 計	5



FRAME

http://www.frame-magic.com

鍋島 道樹 (昭和54年卒)

Michiki Nabeshima

美容室って髪を切るだけなの？

変わるよ

FRAME
東広島市高屋町堀 3199-10
TEL & FAX/082-434-0416

FRAME plus
東広島市高屋町中島 332-4
TEL & FAX/082-439-1255

FRAME square
東広島市西条助実 1191-4
TEL & FAX/082-431-3716

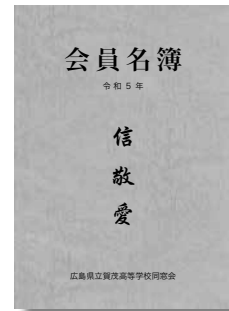
FRAME men's salon
東広島市西条岡町 10-20
TEL & FAX/082-426-5488

FRAME central
東広島市西条下見 4276-3
TEL & FAX/082-490-3916

FRAME beauty resort
東広島市西条下見 4276-3
TEL & FAX/082-490-5188

令和5年版 会員名簿について

皆様ご承知のとおり、令和5年1月に5年ぶりの会員名簿が完成いたします。多くの方より、確認ハガキのご返信や名簿ご予約・協賛広告・名簿作成賛助金のご協力をいただきましたこと御礼申し上げます。ご予約いただきました皆様のお手元には1月下旬頃にお届けいたします。新型コロナウイルスの流行以降、同期会の開催が減少しておりますが、こちらを手にとっていただき同窓生に想いを馳せていただけると幸いです。



事務局からのお知らせとお願い

- 賀茂高校同窓会ホームページでは日頃の活動や同窓生及び母校の近況について情報の発信をしております。同窓生の皆様からも事務局へ情報等をお寄せいただければ幸いです。また、住所・氏名等の異動連絡についてはホームページ「事務局への連絡」の入力フォームから送信ができますのでご利用ください。
- 母校は2026（令和8）年に創立120周年を迎えます。同窓会事務局では母校の歴史を振り返る資料として同窓生（高等女学校・西条高校・賀茂高校）ないしはそのご家族が所有しておられる当時の写真・出版物・配付物等のご提供を受付けております。
- 同期会やクラス会等を開催の場合には事前に同窓会事務局へご連絡ください。活動の活性化を目的とする支援金を提供させていただきます。



編集後記

同窓生の皆様のご協力により、本年も会誌「かもあおい」（第14号）を発行することができました。会誌の名称「かもあおい」（賀茂葵）は賀茂高校の校章名で、京都の上賀茂・下鴨両神社の御神紋「双葉葵」をかたどったものであることはご承知のことと思います。

近年、京都の五月を彩る「葵祭」で使用される葵の葉が激減しているというところで、上賀茂神社社務所内の葵プロジェクト事務局から双葉葵を株分けしてもらい、同窓会事務局で育成を試みてみました。しかしながら、なかなかデリケートな植物で、ほったらかしはもちろんのこと、過保護であってもその育成は難しい植物です。なにやら子育てや教育の姿勢に似ています。

令和8年の創立120周年の際には校内の各所に双葉葵が植生していればと願っていますが、いかがになりますやら。



街・づ・く・り
KAMIGAKI-GUMI

人と自然が調和した街づくりを目指して



上垣組
KAMIGAKI-GUMI

株式会社上垣組 〒739-0036 東広島市西条町田口1437
TEL (082) 425-1010 FAX (082) 425-1011
http://www.kamigaki.co.jp/